

### 3 学習の内容

- 国語
- 社会
- 算数
- 生活科
- 理科
- 音楽
- 図画工作
- 家庭科
- 体育・保健
- 外国語・外国語活動
- 特別の教科 道徳
- 総合的な学習の時間
- 保健指導

# 国語



## (1) 国語の大切さ

なぜ、国語の学習をするのか。

国語は、相手の言いたいことや伝えたいことを正確に理解し、そして自分の伝えたいことを正確に伝えるために学習します。漢字を練習するのも、ことわざを覚えるのも、文法を使うのも、伝えたいことを正確に理解し、正確に伝えるためにとっても大切なものなのです。

国語は主に、「話す」「聞く」「書く」「読む」という分野に分かれています。人は、「聞く」「読む」ということで知識や情報を得ることができます。また、他の人の考えを聞いたり読んだりすることにより、それをヒントにしてまた自分の考えを創り出していくこともできます。さらに、様々な言葉の意味や文の組み立てを理解すると、自分の気持ちや考えを「話し」たり「書い」たりするときに役立ちます。この言語感覚が充実すると、自分のものの見方・考え方の育成に役立ち、人と人とのコミュニケーションの成立や展開を円滑にしていくことにつながります。

国語の学習は、学習してもすぐに成果があらわれないこともあります。国語の学習はマラソンと同じで毎日少しずつ続けることが大切です。国語は全ての教科の土台です。国語をしっかりと身に付けることで、より豊かに生きていくことができます。

## (2) 国語の学習方法

授業では・・・一度読んで、読めない言葉や意味の分からない言葉に線を引いて辞書で調べます。授業中は手を挙げてたくさん発表しましょう。あなたが発表すれば、その一人の考えに、反対したり賛成したりと、その考えがつながっていき、学習が広がったり、深まったりします。授業の終わりには、めあてに合わせて、その時間に分かったことなど、「振り返り」を書きましょう。

家庭学習では・・・

※漢字ドリルを使って丁寧に書く。

毎日丁寧に書くことによって正確に、着実に漢字が覚えられます。

※毎日音読をする。

文章を正確に読むことを繰り返すことによって、すらすらと漢字が読め、文章の内容を読み取る力が付いていきます。

※読書に親しむ。

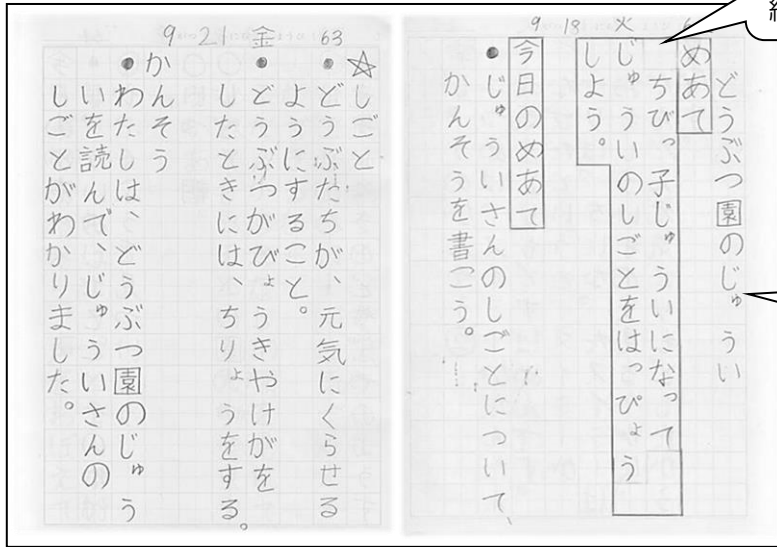
色々なジャンルの本を読むことによって語彙数が増え、自分とは違う人の見方・考え方を疑似体験できるよさがあります。

※1週間に1回日記を書く。

自然に文章力がアップします。また、以前の日記を読み返すことによって、客観的に自分を振り返ることができます。

### (3) ノートの使い方

#### <低学年>



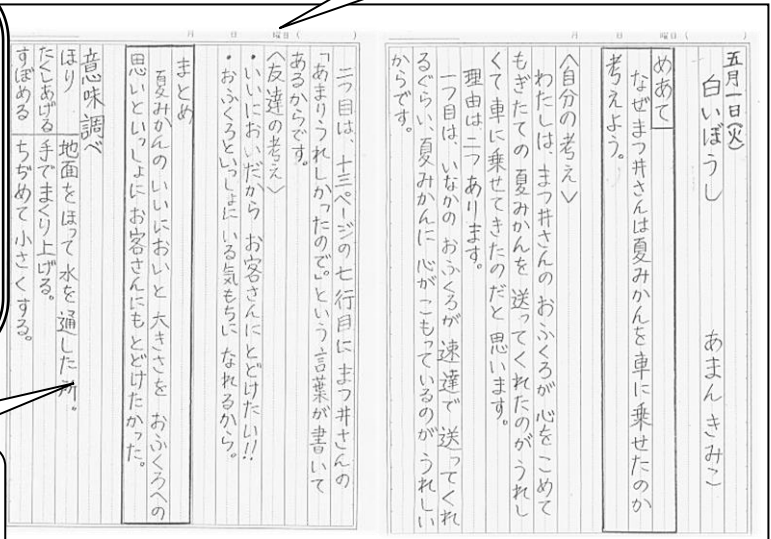
文の初めは1マス下げ、文の終わりには句点(。)を書きます。

マスを使って文字を正しく書くことを意識します。

友達の発表で「なるほど」と思ったことは青で付け足します。

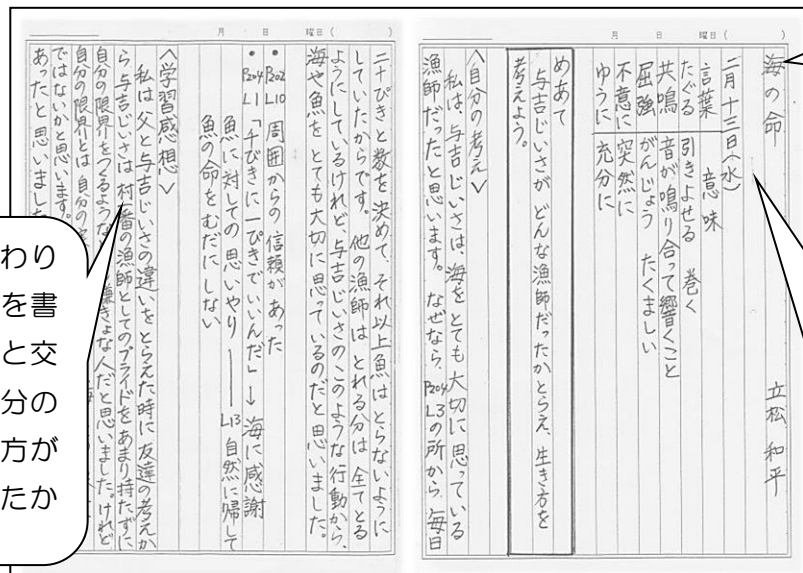
- ★どの学年にも共通の約束
- 日付・曜日を書きます。
  - 「何を学ぶのか」を明確にするためめあてを書きます。
  - めあては定規を使って赤で囲みます。
  - 気付いたことをメモし、見方・考え方の跡が残るようにします。
  - 習った漢字は必ず使います。

#### <中学年>



3年生以上は、分からない言葉は辞書で意味調べをします。

#### <高学年>



題名と作者を書きます。

学習の終わりに振り返りを書いて、友達と交流をして自分の見方・考え方がどう変わったかを書きます

行のノートでも、文字の中心をそろえて丁寧に見やすく書きます。まとまりごとに、一行あけて見やすくします。

# 社会



## (1) 社会の大切さ

なぜ、社会の学習をするのか。

社会科の学習は、これからの時代を生きていく子供たちがよりよい社会を築いていくための基礎を学びます。私たちは「社会」の中で生きています。社会とのよりよいつながり方を学び、考えていくことはとても大切なことです。

社会の中では、たくさんの人が生活しているので、様々な問題が起こります。その問題をみんなでよい知恵を出し合ってよりよく解決していくことが、よりよい社会をつくることにつながります。特にこれからの時代は、グローバル化といわれるように、外国とのつながりがより深くなってきます。自分の国のことは勿論、他の国について知ることも大切になってくるでしょう。世界で起きている様々なことについて知り、よりよい国際社会のあり方を考え、問題を解決していこうとする力を身に付けることが、社会を学習する意味です。

社会科の学習は、多くの場合、問題解決的な学習が行われています。ある問題に対して自分なりに答えを予想し、様々な資料や方法を使って調べ、問題を解決し、まとめていく学習過程になっています。その中で、自分一人で調べて考えるだけでなく、みんなで調べて考えを出し合っていく学習（主体的・対話的で深い学び）を行います。こうした学習を積み重ねていくことで、多様な見方や考え方ができるようになっていきます。

教室での学習に加えて、校外学習や体験的な学習などを進めていくことで、子供自身が社会の仕組みや社会の中で生きる人々の工夫や努力のおもしろさを実感してほしいです。

## (2) 社会の学習方法

授業では・・・学習の流れ【つかむ ⇒ 調べる ⇒ まとめる ⇒ 活用する】

- ① つかむ・・・学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。
- ② 調べる・・・予想を立てて、様々な資料や方法を使って調べる。
- ③ まとめる・・・調べた結果を整理して、表現する。
- ④ 活用する・・・学習内容を実践に生かす。

家庭学習では・・・

社会科では、「？」が大切です。生活の中から、たくさん「どうして〇〇なのか？」を探したり、確かめたりすると社会科の学習につながります。また、高学年であれば、新聞記事を読んでも社会の仕組みを知る上でよいと思います。その他、社会科＝暗記教科ではありませんが、基礎的・基本的な知識を覚えることは日常で取り組みやすいです。地図帳や年表を見る機会を増やすなど、学年に応じて基礎的・基本的な知識を増やしていきましょう。

【例】

3・4年生 「方位や主な地図記号」「47都道府県の名前と位置」

5年生 「世界の主な大陸と海洋」「主な国の名前と位置」「我が国の市と領土」

6年生 「歴史上の主な発明品」「国名・主要文化財」「我が国の世界遺産」など

### (3) ノートの使い方

学習問題  
(単元で学習すること)

学習問題  
武士が力をつけていき、世の中はどのように変わったのだろうか。

その授業の学習のめあてを書きます。

学習した日付を  
ノートのマスの  
中に書きます。

予想を書くときは、今まで習ったことや自分の生活の経験をもとに書きます。  
「～だろう」  
「なぜなら～から」のかじょう書きで書きます。

6月21日(水)

めあて  
武士はどのようにして、力をのびていったのか調べよう。

朝廷や貴族の勢力争い

源氏 源平の戦い 平氏

源頼朝・義経 平清盛

東日本で力をもち、西日本で力をもち

学習で調べたことをかじょう書きで書いていきます。

頼朝 伊豆へ流される	1156年 保元の乱 (勝)	太政大臣
	1159年 平治の乱 (勝)	貴族の政治を行う
兄弟合流!	21年後	宋(中国)との貿易。神戸港を作る
(おしなでま) 兄は...	1180年 石橋山の戦い	ほろびる (3mm 10mm 方眼)
	1183年 くりから峠の戦い	
	1184年 一ノ谷の戦い	
	1185年 屋島の戦い	
	壇ノ浦の戦い	

学習に使った資料をはっておきます。

源氏 VS 平氏

まとめ  
武士は、貴族の政治に影響力をもち、力をのびた。特に力をもちた源氏が平氏をほろぼした。

まとめは、調べたことや学習して分かったことを書きます。学習感想を書くときは、思ったことや疑問、調べてみたいことなどを書きます。そのときに、どうしてそう思ったのか、理由をしっかりと書けるとよいです。

<知識の記録>

基礎的・基本的な知識は何度も見直して覚えましょう。

4月18日(金) P8~P9  
まちを見わたそう

めあて  
方いじしんのつかいかたをしるう。

方位…東西南北のもこと。

方位じしん…色のついたはりのこと  
す方こうか北

地図には、ふつう北を上にしてつくられる

4月22日(火)

めあて  
地図記号についてしるう。

- 田…神社
- 文…学校
- ㊦…ゆうびんきょく
- 甲…ひょういん
- モ…寺
- ×…交番
- Y…しょうほうしょ
- …区やくしよ
- 田…丁R
- …そのほかのてっ道
- 工…工場
- 書…図書館
- 企…はくぶつかん
- 介…老人ホーム
- ◎…市やくしよ
- ∨…畑
- 田…田
- 園…かじゅん
- 電…はつ電しよ

<資料からの読み取りの記録>

4月30日(水)

めあて  
けいさつおんの仕事についてしりょうを元に調べよう。

・ふだんはおとしものをあずかたり、道をあんないしたりしている。

・自分がたんとする地いさのイ人ぐらしのお保よりの家をほうもんしたりする。

交流  
・悪い人(不しん者)をつかまえる。

・小学生の交通安全教育の宛し。

・パトロールをしている。

・事件があつたとき、しごうこ集めをする。

・おしもの時にそなえこ、くんれんをする。(けいさつ犬)

・時々外国人に道をあんないをしたりする。

資料をよく見て読み取り、友達が気が付いたことを付け足し、交流しましょう。

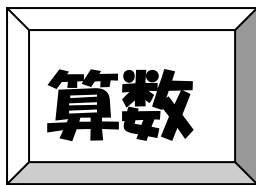
<自分の見方・考え方の記録>

まとめ

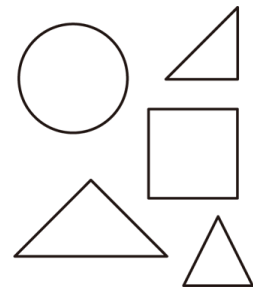
私たちが情報を生かしていくためにはどんなことに気を付けていけばよいか。

わたしは、インターネットでは、必要な情報かを区別し、まちがた情報を使わないようにすればいいと思う。もしも、自分から情報を流す時は、自分や友達の個人情報~~を流さないようにする。~~新聞でも、どのような事を言っているか確かめる。 1/21

学習したことを生かして自分の考えを記録し、発表しましょう。



1 2 3 4 5  
6 7 8 9 10



## (1) 算数の大切さ

なぜ、算数の学習をするのか。

算数は、日常生活で多くの場面で活用しています。買い物をするときにおよその代金を計算したり、毎日のように目にする時計を見て一日の予定を立てたりします。また、友達と同じ数ずつお菓子を分けるときなど、算数の学習は数多くの場面で役立ちます。それ以外にも、子供たちが成長し大人になっていく過程でとても大切な力を育てていく教科です。

授業の中で、ただ、答えを出すだけでなく、なぜ、その答えになるのか、今までに学習した事をもとにして統合的に考えていきます。そうすることで問題解決に向けて、論理的に自分の考えをまとめていく力が育っていきます。日常生活において算数的な場面だけでなく、何かの問題に出会ったときにどうすればよいのか、発展的に自分の考えを構築していく力にもつながっていきます。

また、授業では、多様な友達の考えを聞くことも大切です。同じ答えなのにいろいろな考え方があることを知ることで、算数のおもしろさ、数学的な見方・考え方を養っていきます。

算数の学習では、「やってみたい!」「解いてみたい!」という気持ちを高め、「できた!」「わかった!」という算数の楽しさを実感できる子供たちを育てます。

## (2) 算数の学習方法

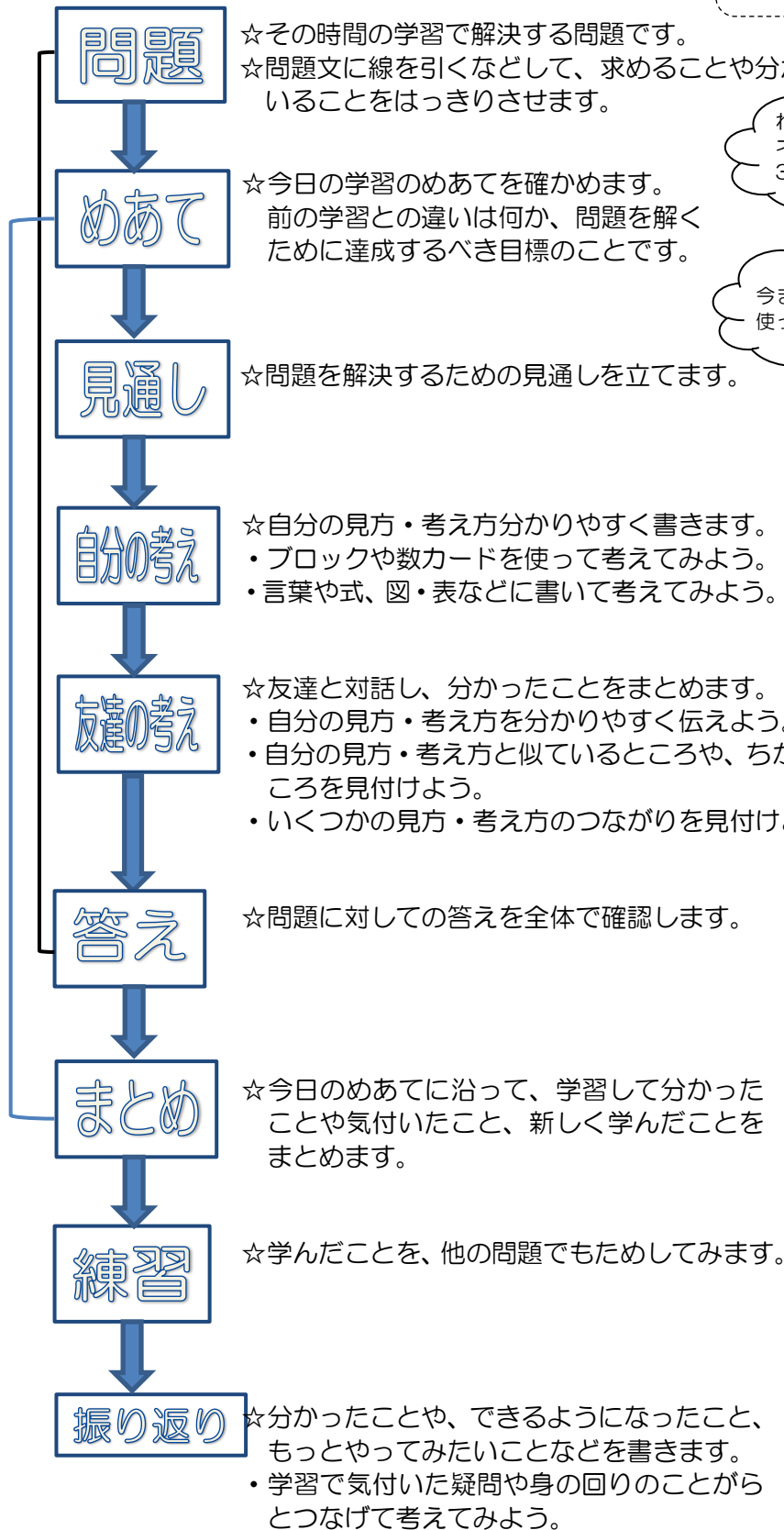
授業では・・・

問題を解決するために、自分の考えを文章で書いたり、式や図、絵、グラフなどでわかりやすく表したりします。答えは同じになっても、様々な見方・考え方をすることで算数の楽しさを見付けていきましょう。また、基礎的・基本的内容の定着、学力向上に向けて、3年生から6年生までは少人数での学習指導を行っています。個々の学習進度に合わせて学習課題に取り組んでいきます。つまずきがある場合は、関係のある学習内容まで戻り、着実に学力を高めてくようにしましょう。

家庭学習では・・・

計算ドリルを中心とした宿題を出します。宿題の丸つけをしたら、間違えたところは、その日のうちに直すことが大切です。つまずきを感じた時は、関係のある学習内容まで戻って、繰り返し学習することが必要になってきます。例えば、九九でのつまずきがある場合は、第2学年の学習である九九の反復練習をしていきます。

### (3) 1時間の学習のすすめ方



20円のラムネと30円のキャラメルを買います・・・



わかっていることは、ラムネが20円でキャラメルが30円。求めることは...

今までに学んだことを使って考えると...



**☆ポイント☆**  
今までに習ったことともつなげて考えよう！

〇〇さんの見方・考え方と私の見方・考え方の、似ているところは・・・



今までとは少しちがう問題だったけれど、前に習ったことと同じようにすればできることがわかった！





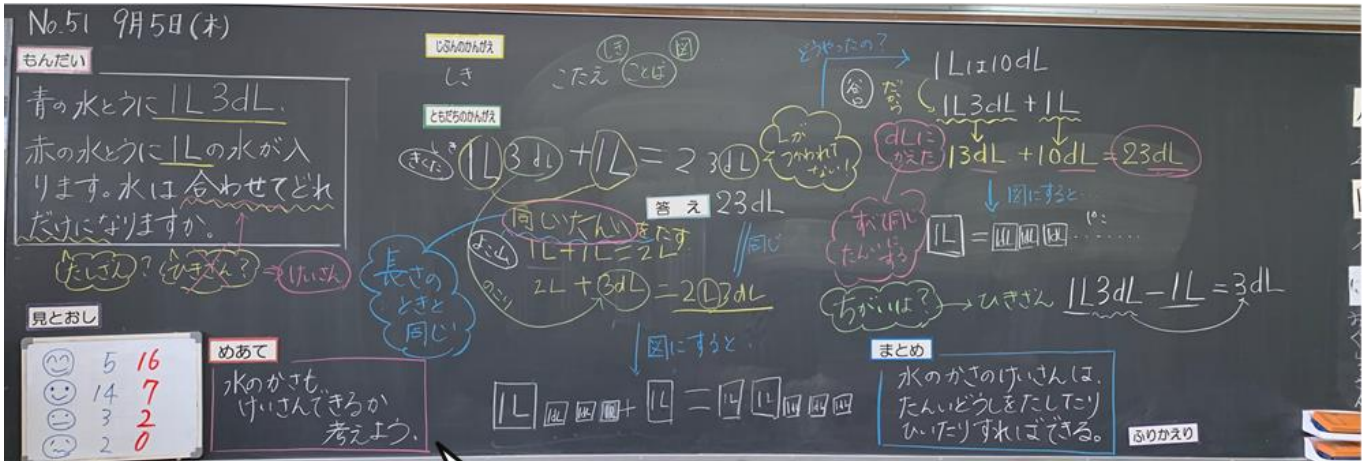
(4) 学習内容

①低学年

操作活動を通して

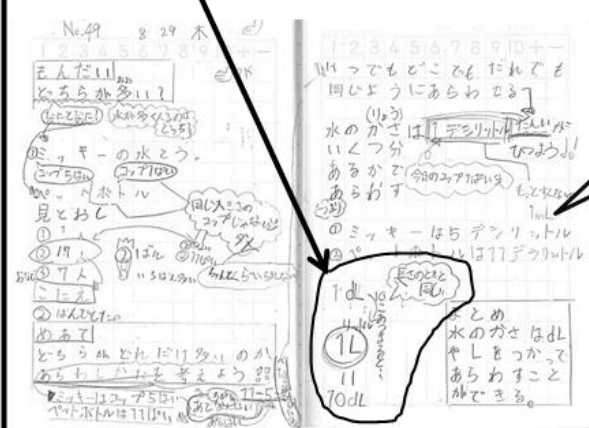
数学的な見方・考え方を身に付ける子

ブロックや数カードなどの、具体物や半具体物を操作する活動に重きを置いた授業を繰り返し行うことで数や図形に関する感覚を磨く。



実際に操作することで数量の感覚を磨きます。

今までに学習した内容とつなげて統合的に捉えます。

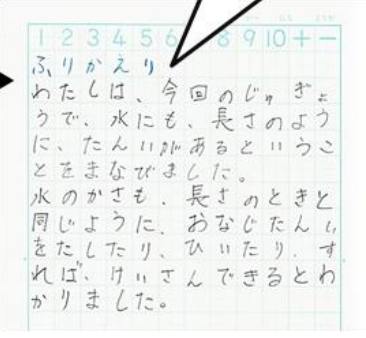


操作した結果はノートにしっかり記します。

本時に学んだこと、気が付いたこと、もっと知りたいことなどを振り返りに書きます。



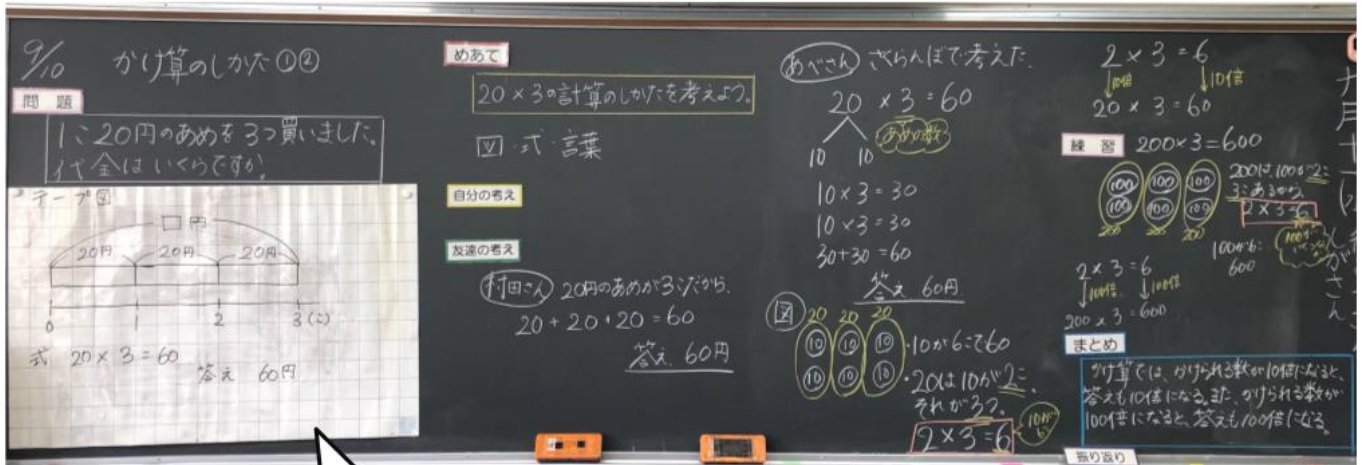
授業時間だけではなく、日常と関連付けて、発展的に学習内容を捉えます。



②中学年

# 数学的な見方・考え方を表現できる子

数量関係に着目して、図や表に表す活動に重きを置いた授業を繰り返し行うことで、数量関係を式や図・表・グラフを用いて簡潔に表したり、式と図・表・グラフを関連付けて式を読んだりすることができるようにする。



式と関連付けて、どうしてそうなるのかを図で表します。

今まで学習してきた筆算も「(位を)分けて、計算して、たす」と計算できると統合的に考えることに気が付きます。

自分の考えを公表するとき、図と式を関連付けながら考えて理解を深めていきます。

かけられる数の桁数が増えてもできるそうだと、発展的に考えています。

わたしは、今日一番頭にはいっていることは、わけて、たすです。わたしは、きょうのべんきょうで312x3の計算問題をわかんがえました。今日は、312x3の筆算のしりたでかけ算は、答えをたしたら答えはわかるとはじめてしまいました。今日わけて、わけて、たすをはじめて、わかんたことというあだなをつけました。こ人とやおときは、舌のくらいよりも、とまき教室でわかんたことです。こ人は、自分の考えできく人はわかんたことでもわかんたことです。わたしは、友だちの考えでわかんたことでもよが、たとおもうのでもたしこことさういう考えを自分でわけて、わかんたことです。

③高学年

## 統合的・発展的に考えることができる子 根拠を基に説明できる子

「統合的」とは、異なる複数の事柄に共通点を見出すことで、一つものとして捉え直すこと。  
「発展的」とは、物事を確定的なものと考えず、絶えず考察の範囲を広げていくことで、新しい知識や理解を得ようとするものである。

「根拠を基に説明」とは、自分の見方・考え方を式や図・表・グラフを使って筋道を立てて説明すること。

9月25日(水)

**問題**  
3人の速さの順番を調べましょう。

Aさん	40m	同8秒
Bさん	40m	9秒
Cさん	50m	9秒

めあて  
速さを比べる方法を考えよう。

見通し  
1あたりで比べる

**自分の考え**  
1秒間に何m進めるか  
A  $40 \div 8 = 5$  (m)  
B  $40 \div 9 = 4.44$  (m)  
C  $50 \div 9 = 5.55$  (m)  
きょりが長い方が速い  
C → A → B  
1秒あたりのきょり

**友達の見方**  
1mあたり何秒かかるか  
A  $8 \div 40 = 0.2$  (秒)  
B  $9 \div 40 = 0.225$  (秒)  
C  $9 \div 50 = 0.18$  (秒)  
時間が短い方が速い  
C → A → B  
1mあたりの時間

答え  
C → A → B

**まとめ**  
速さを比べるときには、  
単位量あたりの考え  
を使って比べる方法が便利。

**練習**  
A  $35 \div 5 = 7$  (m)  
B  $16 \div 2 = 8$  (m)  
Bの方が長いきょり進む。  
答え Bの店

子供の中から出てきた課題意識から、距離も時間も違うAさんとCさんも比べられるように見通しをもちます。

子供の見方・考え方の中から共通することを見つけ、既習事項と統合的に考えます。

「何を求めるのか」「なぜ速いと言えるのか」を、式を基にして説明します。

9月25日(水)

**問題**  
3人の速さの順番を調べましょう。

Aさん	40m	8秒
Bさん	40m	9秒
Cさん	50m	9秒

めあて  
速さを比べる方法を考えよう。

**自分の考え**  
1秒あたりに何m進んだか  
A  $40 \div 8 = 5$  5m  
B  $40 \div 9 = 4.44$  約4.4m  
C  $50 \div 9 = 5.55$  約5.6m

1秒あたりに進むきょりが長い方が速い  
C → A → B

**友達の見方**  
1mあたり何秒かかるか  
A  $8 \div 40 = 0.2$  0.2秒  
B  $9 \div 40 = 0.225$  0.225秒  
C  $9 \div 50 = 0.18$  0.18秒

時間が短い方が速い  
C → A → B

求め方は2つある

1秒あたりのきょり  
↓  
1mあたりにかかる時間  
↓  
単位量あたりの考え  
1あたり

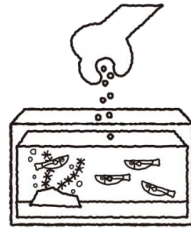
**まとめ**  
きょりも時間もちがう3人を比べるときには、単位量あたりの考えを使えば求められる。

**振り返り**  
最初は、きょりが同じAさんとBさん、時間が同じBさんとCさんは比べられると思いましたが、きょりも時間もちがう時には、1あたり(単位量あたり)を求めればいけると分かりました。前に単位量の学習をした時にも、1あたりを求めて比べていたのど、その考えが速さにも使えると思えました。  
新幹線などの速い乗り物の1秒あたりに進むきょりを調べて、比べてみたいと思いました。

既習の「単位量あたりの大きさ」と「速さ」の繋がりを統合的な見方・考え方でまとめています。

日常生活と結び付ける発展的な見方・考え方でまとめています。

# 生活科



## (1) 生活科の大切さ

なぜ、生活科を学習するのか。

小学校低学年の特徴は、発達上、具体的な活動を通して思考する段階にあります。そのため、身近な自然を観察し、季節の移り変わりを感じたり、身の周りにあるものを使って遊びを工夫したり、動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらは生命をもっていること、成長しているということを知ったりと、実際に見たり、聞いたり、触ったり、様々な体験や経験をすることを重視しているのです。

学習の中では、具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けたり、自分の生活について考え、表現したり、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしようとする態度を養ったりします。

また、幼児教育から小学校教育への移行を円滑にするための教科として大きな役割を担っています。保育園や幼稚園から小学校に上がると、国語や算数などの「学習」が始まり、それまでの遊びを通じた総合的な学びとはがらりと変わります。そこで、生活科はそのギャップを少しでも和らげ、学ぶ楽しさや、そこで学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲や態度を育むための教科でもあるのです。

生活科では、具体的な体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力の育成を目指すことを目標としています。

## (2) 生活科の学習方法

授業では・・・

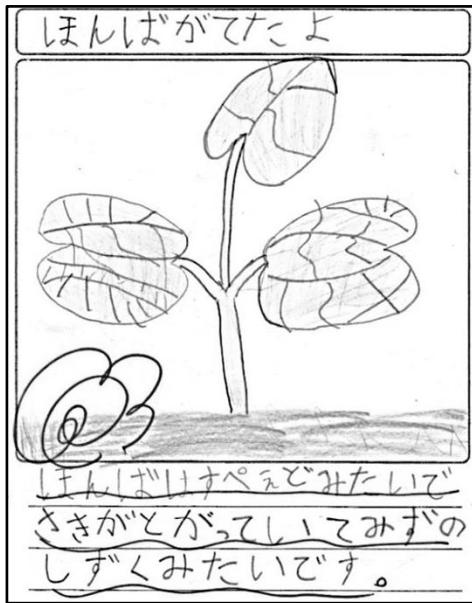
学校探検やまち探検を通して自分が生活している場所や住んでいる地域について知り、そこで生活している人々と関わりをもったり、自然の中で遊ぶ体験を通して季節を感じたり、植物を自分の手で育て、成長していく喜びを知ったり、生き物とふれ合う活動を通して命の大切さを感じたりと、直接体験的な活動を重視しています。1・2年生合同での異学年交流も積極的に取り入れています。そして、観察カードを書いたり、感じたことや気付いたことを交流したり、育てた植物を使って作品を作ったりと、体験しただけで終わりにならないよう、振り返りの時間も大切にしています。

家庭学習では・・・

- ① 規則正しく生活する。(早寝、早起き、朝ごはん)
- ② 基本的な生活習慣や技能を身に付ける。
- ③ 家族と一緒にやってみたいこと(遊びや運動)を行う。
- ④ 家族の一員としての仕事を行う。
- ⑤ 自分の成長について、家族に聞いて知る。
- ⑥ 動物を飼育したり、植物を育てたりする。

## <観察カードの紹介>

(1年生)



(2年生)



## <体験活動の様子>

(1年生)



1学期にはアサガオの種をまき、芽が出て成長していく様子を観察します。



季節に応じた遊びを考え、自然物を使ったり、体を動かしたりしながら季節を感じることでできるような活動を四季を通じて行います。



かるたやおはじきなどの伝承遊びを競ったり、ルールを工夫したりしながら楽しめます。

(2年生)



まち探検では、公園や公共施設を探検し、町の素敵なところを再発見し、町で働く人々の様子を知ります。



5月頃に矢ヶ崎農園でさつまいもの苗植えをします。12月頃に収穫します。

# 理科



## (1) 理科の大切さ

なぜ、理科の学習をするのか。

私たちの身の回りには、たくさんの**自然の事物や現象**があり、それは不思議でかけがえないものです。また、私たちの生活を豊かにするために**科学の力**は欠かせないものです。自然界の規則や法則を理解して身の回りの事物や現象を見ると見えない事実が認識できたり、将来の変化を予測することができたりするのです。(台風情報、水の災害、省エネ環境問題)

理科で大切なのは、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することです。そのためには、自然に親しみ、その偉大さや美しさを感じ、「なぜ……だろう？」という疑問をもつことが大切です。さらに、今までの知識や経験から自分で予想をたて、考え、実際に自分で実験や観察をすることで、自然界の規則や法則〈違いや共通点〉を見付けだすことです。それは、根拠ある自らの判断や思考で問題解決していく力を育てることにもつながります。

一人一人が、理科の学習で自然の事物や現象に興味を持ち、見通しを持って実験や体験を行い、理科の見方・考え方、知識や論理的な思考力を身に付けていってほしいと思います。

## (2) 理科の学習方法

・授業では、課題に対して自分で考えて、問題解決ができるようにしましょう。

〈授業の流れ〉

- ①課題をつかむ。
- ②疑問をもつ。(なぜ……だろう?)
- ③問題を解決するための方法を考える。(どんな実験、観察をするといいか考える)
- ④予想、自分なりの考えをもつ。(今までの学習や経験、知識・技能を総動員させて考える。)
- ⑤実験、観察をする。(比べる、関係付ける、推論する)
- ⑥実験・観察結果を整理してまとめる。

授業では、課題に対して自分で考えて、問題解決ができるようにしましょう。

・家庭学習では、授業で学習したことを発展させて実験したり、時間をかけて観察したりしましょう。

\*身の回りの自然や生き物の様子を観察する。

(公園や野原の植物、生き物、空、雲、太陽、空気、水)

\*理科の授業で行った実験を家で発展させてやってみる。

(例：家の中の磁石にくっつく物はどれだろう。 昆虫を育ててみよう。等)

\*休みの日に、博物館や科学館に行く。

《観察カードをかくときには》

日付、曜日、天気、温度を必ず書きます。

観察するものを書きます。

メダカのオスとメス

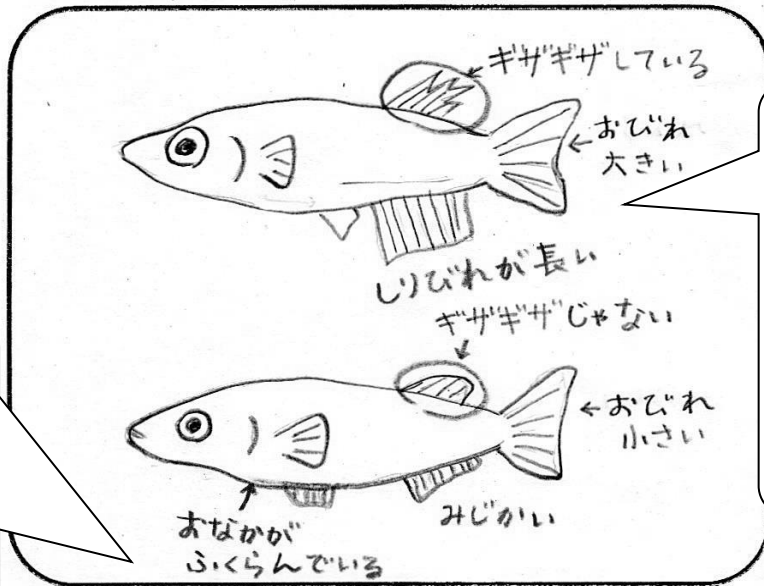
6月18日(月)

かんづきく

天気 (くもり)

気温 (24)°C

名前 (保谷 二郎)



絵はよく見てかくことが大切です。植物なら、花や葉の形、花や葉のつき方などをよく見てかきます。よく見て、正確にかくことが大切です。

数を数えたり測ったりしたものは、正しく記録することが大切です。次に観察した時に、比べてみると分かることがたくさんあります。

体の長さ = 2cm5mm オレンジ色 元気に泳ぐ

オス せびれがギザギザしている。入っている。

しりびれが後ろの方まで長くなっている。  
長方形、平後四辺形

メス せびれがギザギザしていない。

しりびれが後ろの方にいくにつれて短くなる。  
三角形

続けて観察していくと、季節が変わり、気温が変わったこと、植物の成長や、虫の成長、見られる植物や虫のちがいがよく分かります。

友達がよいことを書いていたり、自分が気付かなかったことを書いていたら、青で書き足しておきましょう。

花や葉の数や大きさ、全体の高さなどを測ったり数えたりして書いておきます。数を数えられるもの、定規などで測れるものは、数や長さ、重さなどを必ず記録しておきましょう。

《ノートをかくときには》

日付、曜日、天気、  
気温を書きます。

授業の『課題』（めあて）を  
書き、赤で囲みます。

『予想』を書くときには、これまでに勉強した  
こと、見たことがあること、やったことがある  
こと、聞いたことがあることなどを使って考え  
ましょう。『前に××したときに～だったから』  
『〇〇の実験で～という結果だったから△△だ  
と思う』など、自分の考えの根拠（もとなる  
経験や事実）を必ず書くようにしましょう。

11月7日（水） 晴れ 20℃

**課題** とけるとはどういうこと

予想 紅茶にさとうを入れた時に  
まぜたらさとうが見えなくな  
りました。入れたものが見え  
なくなるのが、とける  
ということだと思います。

友だちの考え  
すきとおること。  
とう明になること。

実験 1

1番はやく  
とけた。  
(30秒)  
モヤモヤした  
ものが見え  
た。

水が白く  
にごりし  
ました。  
下の方には  
まっさらな  
よの方はす  
きとおる。

とけるのが  
おそい。  
水が茶色に  
なりました。  
とけた？

2番目に  
とけた。  
(1分5秒)  
茶色  
は  
ま  
っ  
さ  
ら  
な  
ら  
な  
い  
と  
う  
明  
に  
な  
る

シュリーレン現象 という

もやもやしている  
とけているのが見える。  
まぜなくてもとけるのにビッ  
クリした。  
← 下の方にはもやもやが見えない。

まとめ

無色とう明  
赤と青のこなはとう明になって  
つぶもなくなつたのでとけた。  
緑のこなはつぶはなくなつたけ  
れど、色が茶色になった。でもと  
けたのではなからう。有色とう明  
黄色はこなはずんできたので  
とけていない。つぶがないとう明に  
なる

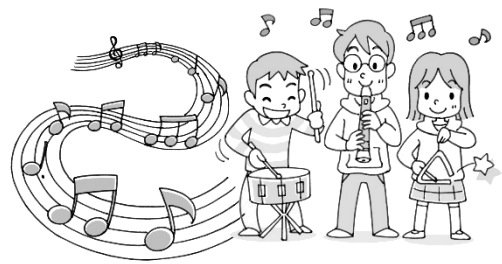
グループの話し合いや、全体で出さ  
れた友達の意見で、大切だと思った  
ことは青で書き加えておきます。先  
生の説明も同じように青を使ってメ  
モができるとよいです。黒板に書か  
れたことを書き写すことは基本です  
が、学習で分かったこと、考えたこ  
とも書き加えましょう。

『実験・観察の記  
録』は、絵を使っ  
てかいておくと、  
分かりやすくな  
ります。色が大切  
になることが多  
いです。授業の時、色鉛筆は必ず  
準備します。

『まとめ』は『課題』（めあて）に立  
ち返って考えて書きます。算数に当て  
はめると、『課題』は問題、『ま  
とめ』は答えにあたります。必ず授業  
の『課題』にもどって実験結果や観察  
したことをまとめましょう。  
全体でまとめたときに、自分の『ま  
とめ』に足りなかったことは必ず書き加  
えておきましょう。『まとめ』は青で  
囲みます。



# 音楽



## (1) 音楽の大切さ

なぜ、音楽の学習をするのか。

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質や能力を育て、さらには生涯にわたり音楽文化に親しみ、心豊かな生活を営むことのできる人を目指すのが音楽の学習です。

〈音楽で目指す資質・能力の3つの柱〉

- ① **知識及び技能**：曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、音楽表現を楽しむために必要な技能（歌唱・器楽・音楽づくり）を身に付ける。
- ② **思考力・判断力・表現力**：音楽表現に対する思いや意図をもち、よさを見いだして音楽を味わって聴く。
- ③ **学びに向かう力、人間性等**：主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

## (2) 音楽の学習方法

授業では・・・

音楽的な見方・考え方を働かせて、表現（歌唱・器楽）・鑑賞・音楽づくりの各分野に関連性をもたせながら、学習に取り組んでいきます。それらの活動に必要な基礎的な技能や音楽に対する感性は、主体的・対話的で深い学びの中で行う常時活動や友達と協働して行う活動を通して高めていきます。

\*教育環境として大切にしていること\*

- ①お互いの声、音、音楽をよく聴き合うために、よい耳を育てる静かな「間」を意識する。
- ②音楽の要素（リズム・拍・音程）や形式、曲想等を理解する上では、楽曲の中で拍に合わせて身体を動かし歌う等、音楽的な感覚を働かせることを通して知的な理解へとつなげる。
- ③友達と関わり合い、心・声・音を合わせ、互いに協働した活動の場面の設定を行う。

家庭学習では・・・

○おうちの方と一緒に音楽を楽しみましょう。

音楽が好きというおうちの方の子供は、だいたい音楽が好きになります。お子さんと一緒に歌ったり演奏したりすること、コンサートに足を運ぶこと等もよい経験となります。

どうぞいろいろな方法で音楽を楽しんでみてください。

# 図画工作



## (1) 図画工作の大切さ

なぜ、図画工作を学習するのか。

図画工作科の表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

〈教科の目標〉

- ① **知識及び技能** 対象や事象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- ② **思考力・判断力・表現力** 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ **学びに向かう力、人間性等** つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

## (2) 図画工作の学習方法

授業では・・・

- ① 児童が自分の感覚や行為を大切にしたい学習活動を行うことで、一人一人の理解を深め「知識」の習得につなげます。また、自分の思いを生かした造形活動を楽しむ過程を通して、「技能」を育成することが重要であると考えています。
- ② 「表現」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、児童が興味関心をもてるような題材の設定や、新たな材料、道具との出会いを大切にします。「鑑賞」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、作品をつくったり見たりするときに、自分の見方や感じ方を大切にするとともに、他者との対話を通して、様々な見方や感じ方があることを味わい、考えを深めていきます。
- ③ 児童が作品にこめた思いや願いに教師が気付いたり、表現のよさに一緒に感動したりすることで、つくりだす喜びを味わう時間や場面を大切にしていきます。

家庭学習では・・・

○日常生活の中にも色や形がいっぱい！

身の回りは色や形であらわれています。例えば、景色を見て、自然の美しさに感動する、自分に似合う服や靴、帽子などを選んで、コーディネートするなどのように日常生活のいろいろなことが図画工作とつながっています。

○材料は発想力の宝物

図画工作の授業では、材料や道具の準備がとても大切です。普段から、空き箱や発泡トレーなど身近な材料をどのように使うか考えることで、発想力や創造力を身に付けることができます。

○美術館に行こう！

多くの美術作品を鑑賞することで、そのよさや美しさを味わい、自分の見方や感じ方を深めることができます。

# 家庭科



## (1) 家庭科の大切さ

なぜ、家庭科の学習をするのか。

家庭科では、家族や家庭生活、衣（快適な衣服の着方）・食（栄養バランスのよい食事）・住（快適な住まい）、消費や環境について学習します。基礎的な知識を学びながら、家族の一員として家庭生活を送ることの大切さを学習します。また、裁縫や調理といった技術を身に付け、将来子供が自立した時に、健康で幸せな家庭生活を送ることができるようにします。

## (2) 家庭科の学習方法

授業では…ファイルやノートにしっかり記録しましょう。

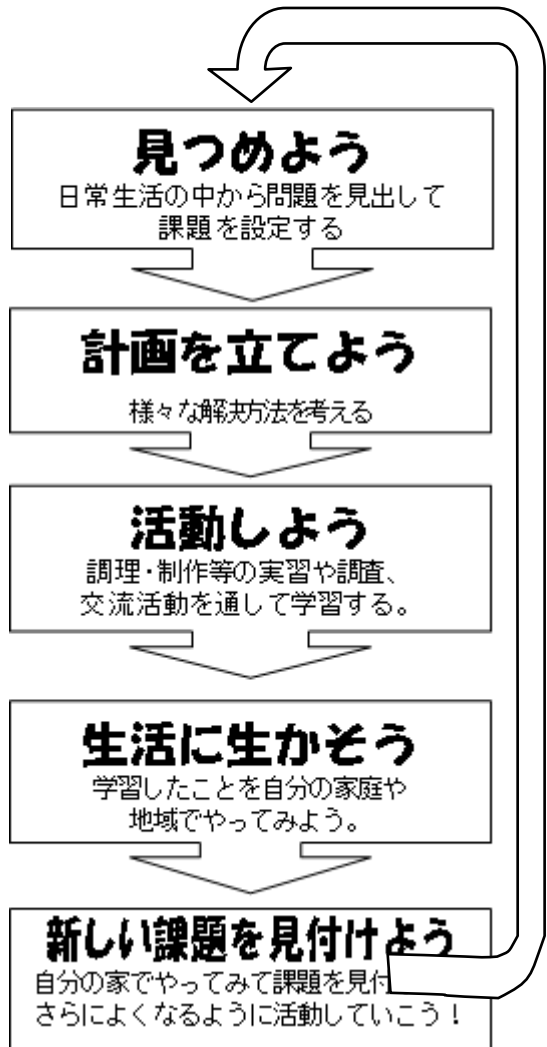
- ① これまでの生活を振り返って、よさや問題点を互いに出し合う。（経験の共有化）  
\*生活経験の個人差があるので、みんなで情報を出し合い、課題を設定します。
- ② よりよい生活が送れるように、改善や向上を目指し計画を立てる。  
\*みんなで話し合い、協力し合って活動できるように調理計画や制作計画、調べ学習・実験計画を立てます。
- ③ 計画にそって協力して活動を行う。  
\*うまくいかないところは、互いに教え合ったり助け合ったりしながら活動します。

家庭学習では…

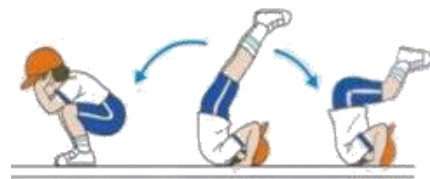
- ① 学習したことを家庭で実践する。  
\*せっかくできるようになったことは、どんどん活用します。家でやればやるほどに上達します。
- ② 新しい課題を見付ける。  
\*生活をよりよくするために課題を見付けて、さらに工夫しましょう。

お家の方へ…

家庭科では、学校で習ったことを、それぞれの家庭で実践することが大切です。時間がかかりながらも、未熟ながらも、家庭の仕事を行い、「ありがとう」と認めってもらうことで、家族の一員としての自覚が育ち、将来的に、家族を支える責任感のある人間へと育ちます。ぜひ、学習内容を確認し、日々の生活の中で子供たちが「生活の工夫」を体験したり、気付いたりできるように、機会を作り、言葉で説明してあげましょう。



# 体育・保健



## (1) 体育・保健の大切さ

なぜ、体育・保健の学習をするのか。

小学校、中学校及び高等学校を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指しています。そのために、体育の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習をしていきます。

## (2) 体育・保健の学習方法

授業では、体育の見方・考え方を働かせるために、自分の能力に合った「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を見い出していきます。

### ① する

- ・楽しんで身体を動かす。
- ・自分の能力や適性、興味関心などに合った練習の場や用具を選んで運動する。
- ・自分や友達、チームで見付けた課題を解決するために自ら考えたり工夫したりする。

### ② みる

- ・友達や大会に出場する選手の良い動きを見て、運動のポイントやコツを見付ける。
- ・自分の動きを見て、良い動きにつなげる課題を見付ける。
- ・運動を安全に行えているか、ルールを守っているかを見る。

### ③ 支える

- ・安全面に気を付け、協力し合いながら用具の準備や片付けを行う。
- ・自分や友達、チームの課題を解決するための方法を話し合う。
- ・同じ学級、チームで協力し合えるように声掛け（応援やアドバイス）をする。

### ④ 知る

- ・運動の楽しさや喜びを知り、そこで解決すべき課題、その解決方法に応じた行い方を理解する。
- ・運動やスポーツが、体力、技能、年令や性別、障害の有無などにかかわらず、様々な人々を結び付けたり豊かな人生を送ったりする上で重要であることを知る。

家庭学習では・・・

- ① 外で元気よく遊ぶ。
- ② 運動・食事・休養・睡眠を十分にとる。

### (3) 体育カード

○低学年（鉄棒カード抜粋）

○高学年（体力向上カード 抜粋）

運動 月	① 前くつ運動		② あお向けうでたてふせ	
	○ むねがついた	○ ひたいがついた	○ ひじがついた	
運動記録	5回1セット		何セットできた	
6月1日				セット
2日				セット
3日				セット
4日				セット
5日				セット
6日				セット
7日				セット
8日				セット
9日				セット
10日				セット
11日				セット
12日				セット
13日				セット
14日				セット
15日				セット
16日				セット
17日				セット
18日				セット
19日				セット
20日				セット
21日				セット
22日				セット
23日				セット
24日				セット
25日				セット
26日				セット
27日				セット
28日				セット
29日				セット
30日				セット

どの学年も、イラストを入れてどんな技かが分かり易いカードを使って、学習しています。高学年では、毎日の積み上げを大切にしていくために、家庭学習として体力向上カードを使って、無理のないように、毎日頑張っていきます。

カードだけでなく、休み時間に校庭で元気よく遊んだり、ホニチャレンジで体を動かしたりして、子供たちの体力向上へつなげていきます。

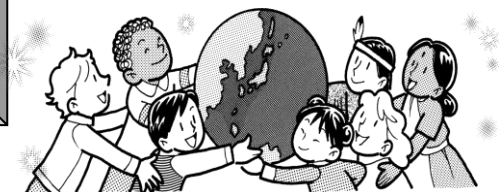
### (4) 保健領域の大切さ

なぜ、保健領域の学習をするのか。それは身近な生活における課題や情報を、病気の予防やけがの手当の原則及び、健康で安全な生活について着目して、病気にかかったり、けがをしたりするリスクの軽減や心身の健康の保持増進と関連付けるためです。

子供たちが生涯にわたって正しい健康情報を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりできるようにしていきます。そこで、保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、疾病などのリスクの軽減や生活の質の向上、さらには健康を支える環境づくりを目指して、情報選択や課題解決に主体的に取り組むようにしていきます。

小学校では、小学校3～6年生にかけて「健康な生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」「病気の予防」について学習し、健康で安全な生活を送ろうとする意識を育てていきます。

# 外国語・外国語活動



## (1) 外国語の大切さ

なぜ、外国語を学習するのか。

外国語やその背景にある文化を理解し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを行う力を高める教科です。異なる言語・文化を理解したり、自分の気持ちや考えを積極的に伝え合ったりすることは、このグローバル社会を生き抜く子供たちにとって大変重要なことです。また、外国語で表現し、伝え合うためには、語彙や表現についての知識や技能、情報を整理して自分の考えをしっかりと持つこと、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることが大切なのです。

小学校中学年の外国語活動、高学年の外国語は、共に中学校・高校の外国語へと接続しており、コミュニケーション能力を支える素地・基礎となります。中学年では「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」、高学年ではこの3つに加え「読むこと」「書くこと」を扱います。しかし、小学校で中心となるのは音声です。つまり、身近で簡単な事柄を聞いたり話したりすることが基本です。最も大切なのは、「りんごが好きだと伝えたい時は“I like apples.”という音を出すんだ」というように、外国語の意味と音声をまるごと結び付けることです。ここに、小学校の授業で外国語を学ぶ意義があります。

小学校で身に付けた力を基に、中学校では「Iが私で、likeは好きという動詞で…」というように、音声に加え、文字や文法を明示的に学習してレベルアップしていきます。

## (2) 外国語活動の学習方法



外国語活動の3つのポイント！

○外国語の音声や文字、語彙や表現などの知識、それをを用いる技能を高める。

外国語は、まず「聞くこと」からスタートします。意味（どんなことを伝えたいのか）を推測しながら、音声（何と言っているのか）を聞きます。初めは分からなくても、絵やジェスチャー、文脈を手がかりに意味を推測しながら聞き続けることが大切です。そして、言えるところから少しずつ言いましょう。

○コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを伝え合う。

お手本を真似て言えるようになったら、次は自分の頭で考えて話すことが大切です。相手にどんなことを伝えたいのかという、自分の思いを大切に活動します。

○主体的にコミュニケーションを図る。

授業では、間違いを恐れず、どんどん発言しましょう。コミュニケーションを通して、自己を表現したり、他者と共感したりする力も高めていきます。

## 家庭学習では・・・気付きを大切に！

言葉や文化について、気付いたこと、気になったことを自分で調べることで、さらに理解が深まります。色々な国の言葉や文化について調べたり、比較したりしてみることで、自分たちの言葉や文化との共通点や相違点、その成り立ちや特徴などの新しい発見につながります。

### (3) 振り返りカードの使い方

## 外国語 ふりかえりシート Reflection Sheet

ローマ字で書ける人はローマ字で。

振り返りカードは1単元に1枚書きます。まずは、単元名またはめあてを書きます。

番号 No. \_\_\_\_\_ 名前 Name \_\_\_\_\_

単元名(めあて) **行きたい国とその理由を伝え合おう。**

A...よくできた B...できた C...もう少し D...できなかった

毎時間の最後に、3つの項目について4段階で自己評価をします。

日付を書きます。付

	英語の表現やきまり、日本語との違いに気付くことができた	場面に合った自分の考えや気持ちを伝えることができた	積極的にコミュニケーションをとることができた
--	-----------------------------	---------------------------	------------------------

ふりかえり (かみばったことや気付いたこと、活動した感想)

	① B C D	A B ③ D	A B ③ D
--	---------	---------	---------

1

2/2  
(月)

国の言い方には、日本語に似ているものとそうでないものがあることが分かった。行きたい国を言うときは、アイウォントウゴウトウのように言っていた。次は、国の名前だけでなく、その部分も相手に伝えるようにしたい。

分かったことやできるようになったことを詳しく書きます。

2

2/9  
(月)

行きたい国を言うことができた。自分はシンガポールに行きたいと伝えたら、〇〇さんも同じでうれしかった。理由をたずねるときは、Why?と言うことが分かった。次は理由も相手に伝えて、伝えるようにしたい。

次の時間への見通しも大切です。

3

2/16  
(月)

理由も言えたので、より伝わりやすくなり、友達が「なるほど」という顔をしてくれた。自信がついてきたので、よりは、きり言うことをがんばった。国の名前は、最初が大文字だったので、次から気をつけて書きたい。

友達の良かったところ、すごいと思ったところも書きます。友達の良いところを見付けられるのは、ポイントが分かっているということです。

4

2/23  
(月)

〇〇さんは、パンダが好きだから中国に行きたいと言っていた。ゆくりは、きり話していたので分かりやすかった。友達の考えはさまざまで、英語でたずね合うのは楽しいと思った。今度、行きたい都道府県でもみんなと話し合いたい。

外国語では、振り返りカードを使って1時間毎に学習の振り返りを行います。振り返りを通して、次の活動に向けて目標をもったり、「できた！」という達成感を味わったりしてほしいと考えています。小学校のうちに色々な語彙や表現に慣れ親しむことが、中学校以降の外国語の学習に繋がっていきます。

# 特別の教科 道徳



## (1) 道徳の大切さ

なぜ、道徳の学習をするのか。

社会を構成する私たちが生きていく中で、色々な問題に出会うことがあります。その問題を乗り越えていくためには自分で考えたり、時には友達と協力したりしていく必要があります。また、きまりを守って生活することや良いことか悪いことか判断し、行動することも生きていくためには大切なことです。

道徳の学習では主に4つの視点があります。道徳の時間はその一つ一つについて、みんなで話し合ったり、自分の考えを聞いてもらったり、友達の考えを聞いたりすることで、自分はしたらよいかを深く考える時間なのです。みなさんが自立した一人の人間としてよりよく生きていこうとする態度を身に付けてほしいと思います。

### ・主として自分自身に関すること

「よいことと悪いことの区別をする、望ましい生活習慣を身に付ける、自分の特徴、長所に気付く、着実にやり抜く強い意志をもつ、工夫して生活をよりよくする」など

### ・主として人との関わりに関すること

「親切にする、礼儀正しくする、感謝をする、思いやりの心をもつ、互いに励まし合う、それぞれの個性や立場を尊重する」など

### ・主として集団や社会との関わりに関すること

「約束や社会のきまりを守る、家族の幸せを求めて進んで役に立つことをする、役割と責任を自覚し集団生活の充実をめぐる、郷土や国を愛しその発展をめぐる、他国の文化を理解し、国際親善に努める」など

### ・主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

「自然や動植物を大切にす、生命を大切にす心をもつ、美しいものや気高いものに感動する心をもつ、人間の強さや気高さを理解し、生きる喜びを感じる」など



低学年	自分のやるべき勉強や仕事ができるようになり、友達と仲良くし、助け合うことや、理解する力もだんだん育ってくるとともに、やって良いことと悪いことの判断ができるようになります。生きることの素晴らしさを知り、自他の生命を大切にし、身近な自然に親しんだり、動植物に優しい心で接したりすることを大切にします。
中学年	自分の行為について自分で正しい判断をして、自信をもって行うことが大切な時期でもあります。相手を理解し、自分と異なる意見も大切にすることを学びます。また、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る態度を育てます。他国の人々や文化に親しみ、関心をもつことも大切です。
高学年	自律的に判断し、責任ある行動をすることが大切です。また、友達と互いに信頼し、学び合うことで友情を深め、人間関係を築いていくようになります。他国の人々や文化について理解し、国際平和に努めることも重要です。よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じ、未来への夢や希望を育むことができるように、子供自身が自分の理想とする考えを大切にしていけます。

## (2) 授業では・・・考え議論する 多面的、多角的な思考を促します。

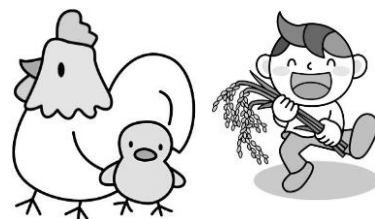
- ・登場人物や場面について想像する。
- ・自分のこれまでの体験をもとに、ねらいとする価値について考えさせる。
- ・これまでの体験や生活について振り返り、話し合い等を通して、ねらいとする価値を意識したり、気付くようにしたりする。

## (3) ご家庭では・・・

子供たちが、よりよく生きる力や豊かな心を育てていくように学校と家庭とで一緒に考えていきましょう。ご家庭での「しつけ」を大事にするためにも道徳の学習について話題にする機会をもつとよいでしょう。



# 総合的な学習の時間



## (1) 総合的な学習の時間の大切さ

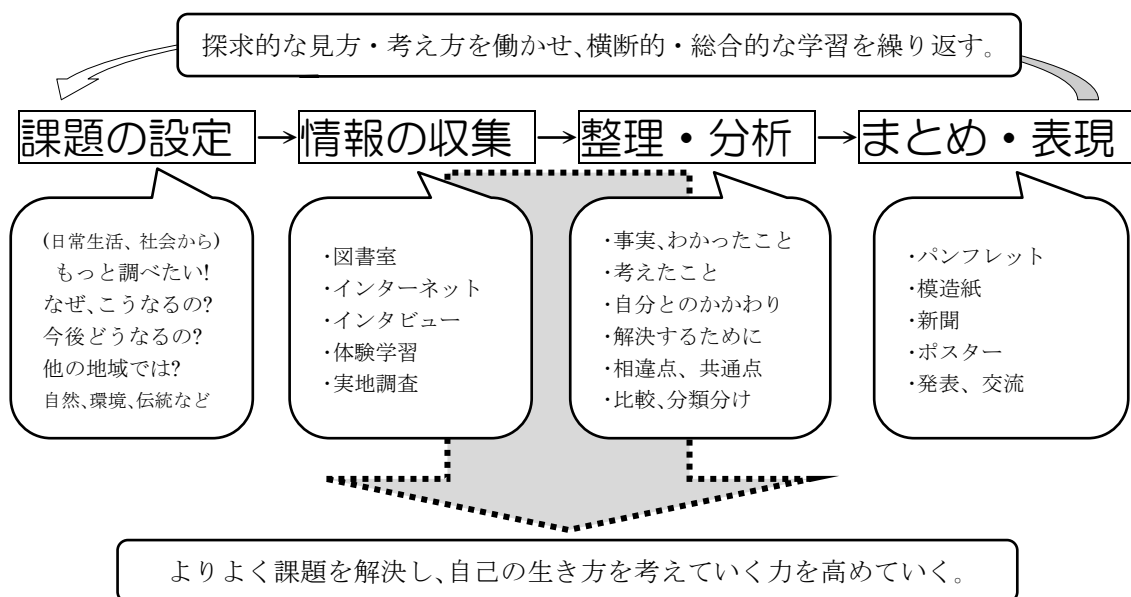
なぜ、総合的な学習の時間を学習するのか。

国際化や情報化、少子高齢化をはじめとする社会の変化が進む中、子供たちは、①探求的な見方・考え方を働かせ、②横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、③自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けることが必要です。そのための学習が、総合的な学習の時間なのです。

3年生では「地域や外国の文化を学ぼう」や「地域安全マップづくり」、4年生では「飼育活動」や「自分たちの成長を振り返る学習活動」、5年生では「お米プロジェクト」や「エコアクション」、6年生では「日本の伝統文化などの体験活動」を行っています。また、共通して、パソコン学習も行います。

これらの活動を通して、「命の大切さ」や「国際理解」「社会環境」「情報」「福祉・健康」などを学びます。総合的な学習の時間だけではなく、他教科等で学んだ見方や考え方を横断的・総合的に活用（カリキュラム・マネジメント）し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を育てていきます。

## (2) 総合的な学習の時間の学習方法



## (3) 家庭学習では・・・

社会の様々な出来事に興味を持ち、経験することで学習を深めていけるような体験をしましょう。

- ①新聞、子供新聞を読む。
- ②インターネットや図鑑や本を使って、情報をまとめる。
- ③自然体験やボランティア活動、社会体験などを行う。
- ④自分の調べたいものの観察や実験をする。

### (3) リーフレットやパンフレットの紹介

〈中学年〉

4年生の飼育引き継ぎ集会のために作成したパンフレット



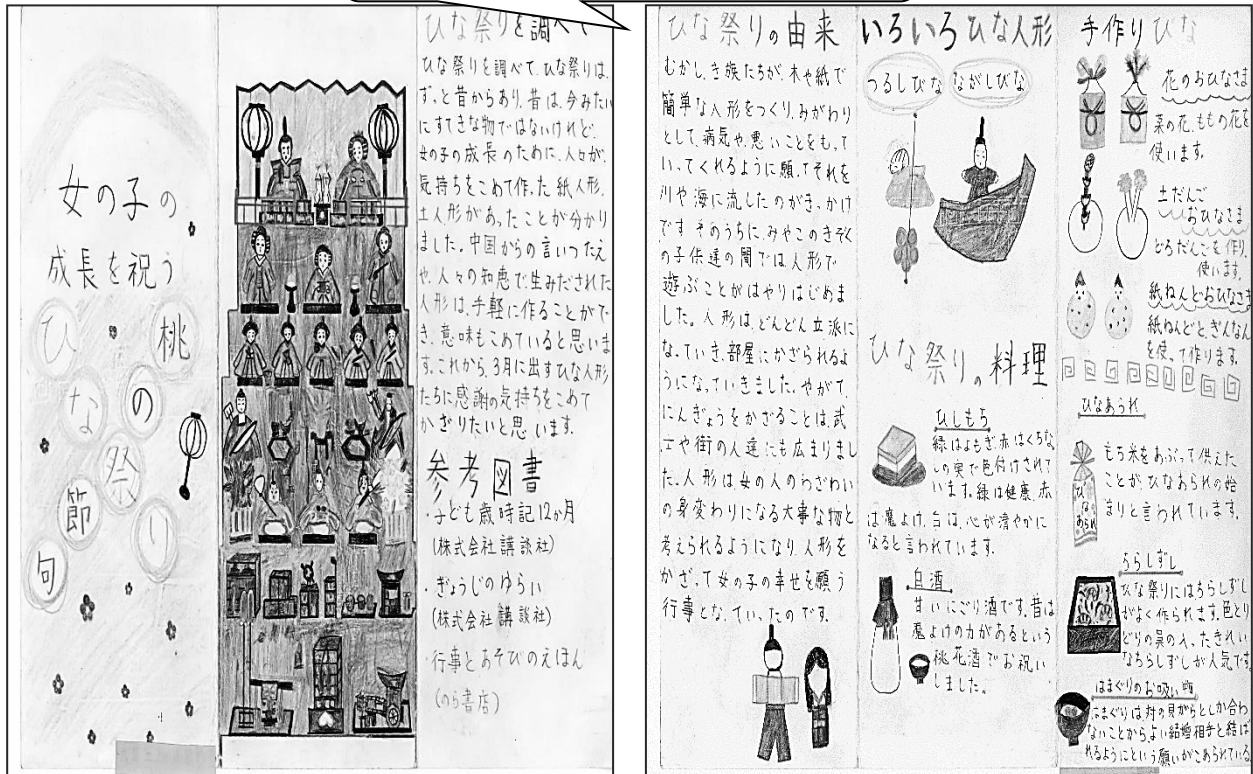
〈高学年〉

5年生が自分で課題設定し、お米についてまとめたパンフレット



〈高学年〉

6年生が日本の伝統文化について調べ、まとめたリーフレット



# 保健指導



## (1) 保健指導の大切さ

3年生以上は、体育科の保健領域で健康な生活を送ることの大切さについて学びます。保健指導では、1年生から健康について具体的な内容を取り上げて考えていきます。自分の日常生活はこれで良いのかを振り返り、健康に生きていくにはどうすれば良いのかを考える力を育てていきます。さらに今の自分の健康だけではなく、大人になった時(老人になった時)の元気な自分をイメージすることで、生涯に渡って生きていくための力になってほしいと考えています。

## (2) 保健指導計画(年間2回 9月・1月 発育測定時)

学年	学年別テーマ	9月題材	1月題材
1	自分でできること	けがの手当て 自分でできること 来室の多いけがについて、そのけがの名前、自分でできる手当てについて知る。また、自然治癒力について知る。	大切な体(男の子と女の子の違い) 髪、肌、背、一人一人違った成長。 お互いを大切にし、身体にいらぬものなど無い。暴力とんでもない!
2	感染症予防	爪の話 爪の役割(健康チェック)。手入れの仕方。手洗いは感染症予防の第一歩。	冬の健康とインフルエンザ インフルエンザとカゼ、何が違うの?罹らない為に必要な行動、予防について。
3	安全な生活に向けて	薬の使い方と決まりについて 私達の身近にある薬。その種類、使用方法のルール。副作用の存在。ルールを無視して手に入る薬は本物ではない!(薬物乱用防止の観点も含める)	こんなときどうする?(安全指導) 少女の帰り道の紙芝居で、一緒に考えよう。自分たちを守る約束と注意について。宿題は、家の人と安全のための約束についてもう一度話すこと。
4	皮膚について 自律神経との関連	皮膚の清潔(汗の始末とワカチ) 汗の役割について知る。自律神経の働き。生活の中での入浴の必要性。ハンカチの必要性。	冬の衣服について(薄着でがんばろう) 自律神経は鍛えられる(日々の生活の積み重ね)。暖かい服の着方。
5	思春期について 生活も含む 個人差	ぐっすり休もう (生活リズムについて) 自身の生活リズムについて再度確認。	月経と精通の復習(生理時の手当て) 4年時の保健の復習をし、実際の生理時の手当てについて知る。男女の変化と個人差について再度確認する。
6	卒業前に	アレルギーについて(主に食物) アレルギーはいつ誰が発症するかは不明。予備知識を持つ。発生時の対応を知る。	スポーツ障害と子供の骨 生涯運動を楽しむ事を目当てにし、スポーツに取り組む。子供の骨の特徴を知る。